



[DSC04583](#)



[DSC04338](#)

名古屋のまちなかから、知的障害者37名が浜松の山里に

5月14日、川奈の野外センター（浜松市北区引佐町）で知的障害のある人たちと健常者のワークショップが行われた。はるばる名古屋のまちなかから、知的障害者の方37名とスタッフ5名が来訪した。昨年の秋は、春野町の無農薬田んぼで稲刈り、脱穀、天日干しを体験したが、今回はその二回目になる。

浜松の山里で森の体験をしてもらおう、芸術創作してみよう、薪づくりから食事をつくってみようと、生きがい特派員の池谷が企画した。

森林散策、ヤッホー体験、マンダラアート、野外炊飯

みんなで森林散策して展望台から、ヤッホーと叫ぶ。体育館では創作活動。模造紙20枚の上に、クレヨン、絵の具、葉っぱな花を使って、好きに描いてもらうマンダラアート作り。みんなで作り上げた作品は、そのままマンダラとなる。マンダラとは、すべてが具足していて欠けるものがない、そのまま宇宙という意味だ。

前田講師によるスプーン曲げ体験も好評だった。参加者全員にスプーンを渡して、念力によるスプーン曲げも体験してもらった。成功率80%だった。できっこない、できるはずないと思っていたことが、あれれできる。曲がる。すごい。やればできるんだ、と成功体験を得てもらった。

そして、野外炊飯でカレー作り。みんなはできるかなあ、大丈夫かなあと心配したが、ちゃんと斧で薪を割り、見事にコメが炊けた。カレーも美味しくできた。よく働いた、よく食べた、片付けもしっかり行った。

浜松北部地区担当 生きがい特派員 池谷 啓



[DSC04427](#)